

## 中核遺跡 <比爪館(2)>

比爪館区画内部の北東部はこれまでほとんど発掘調査がおこなわれていませんが、何らかの施設が存在していたはず。想像されるのは、「儀礼・政務の施設」の政庁である「館」です。このエリアは、当時の幹線道路である奥大道ぬも面しており、政庁の立地としては適しています。

このように、「比爪館」は院政期京都の有力者の居館や、平泉の居館と共通する、「儀礼・政務の施設」「居住用施設」「寺院」の三機能からなる複合施設と解釈できます。（次号につづく）

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレットより —

## 《《《 4～5月行事予定のお知らせ 》》》

4月12日 (日曜日)	平成27年度定期総会	午後2時から午後3時まで 赤石公民館 議案 ・平成26年度事業報告・決算 ・平成27年度事業計画・予算 ・平成27・28年度役員改選、その他 ※ 会議終了後、恒例の懇親会を行います。
4月15日 (水曜日)	第61回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：赤沢の義経伝説について
5月20日 (水曜日)	第62回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：金濱興一 テーマ：下河原訓導頌徳碑について1

## 大日堂遺跡発掘調査で掘立柱建物跡検出！ 比爪館関連か？

紫波町教育委員会2015 発掘調査報告会・文化財セミナーが3月12日(木)に紫波町中央公民館で開催されました。北日詰の大日堂遺跡第1次発掘調査報告では、比爪館遺跡との関連が推測される掘立柱建物跡1棟検出の説明がありました。以下、当日の説明資料の一部抜粋です。

### 1 調査目的

個人住宅新築工事に伴う緊急発掘調査

### 2 検出遺構

◎ 掘立柱建物跡 ----- 1棟

◎ 溝跡 ----- 1条

◎ 柱穴跡 ----- 21口

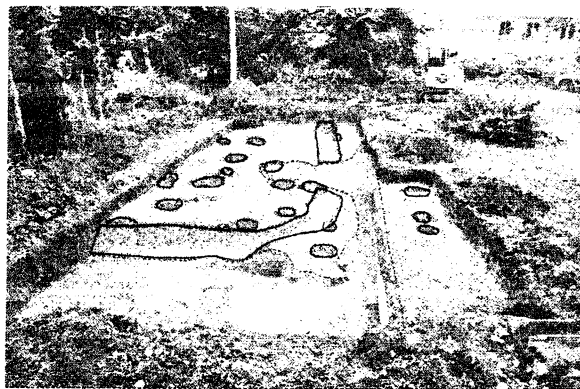
### まとめ

\* 掘立柱建物跡は、東側に1面庇を持つ中規模なものと推測されます。

\* 溝跡は、地形・形状から排水用ではなく、区画するためのものと思われます。

\* 各遺構の時代は、出土遺物が無かった

ため正確な時期は不明ですが、これまでの周辺の調査結果から12世紀の遺構と推測されます。（比爪館遺跡関連施設？）



遺構配置図

☀ ☀ ☀ 比爪館跡の発掘調査 No.18 ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀

【第12・16・18次発掘調査】 比爪館 第11～18次発掘調査報告書－赤石小学校施設工事関連－

＜紫波町教育委員会(平成14年3月31日発行)＞から

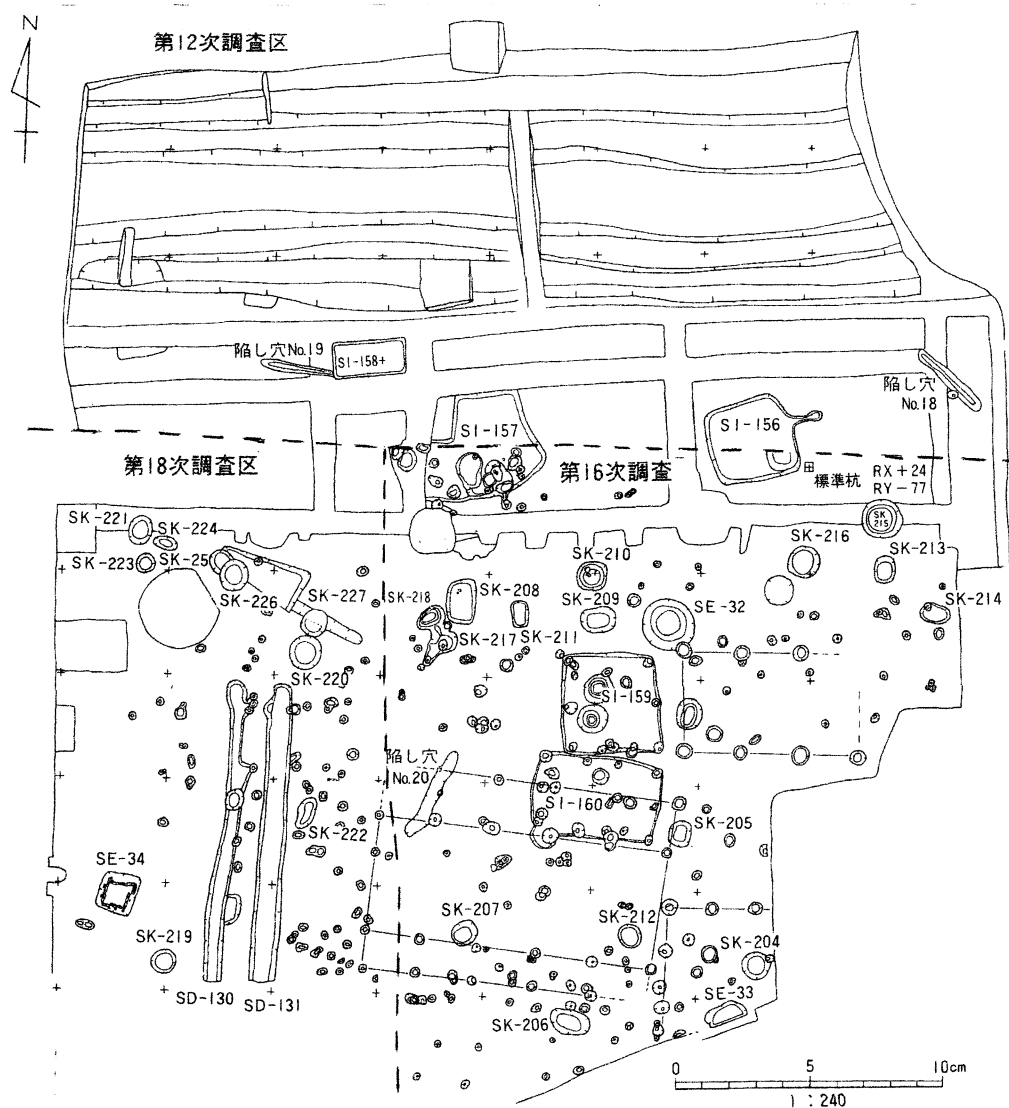
今回から、調査次数が飛びますが、調査報告書に一括記載されている第12・16・18発掘調査をとりあげます。この調査は、表土処理と調査費の関係で4年にまたがる調査となっています。

《調査に至る経過》

今回の遺跡調査は、赤石小学校の校舎新築計画の一環として、屋内体育館新築にともなって実施されたもので、全面精査実施のうえ記録保存を目的とした調査となった。

単年度内での一括調査が望ましかったが、調査区北側で大溝が検出されることがわかっており、表土処理の問題や調査費の捻出の都合から3期に分かれた調査区となっている。(第11図 全体遺構配置図参照)

なお、調査次数が飛んでいるが、4調査の歴史の項で前述のように、13次調査は本遺跡西側の範囲確認調査(平成4年報告済み)、14・15次調査は下水道管理設に伴う試掘調査であり、今回の報告書では割愛した。また、17次調査は個人住宅建設にともなう発掘調査(平成5年報告済み)である。



第11図 第12・16・18次調査区全体図

期間 第12次 平成3年5月27日～6月30日 面積465㎡。第16次 平成4年6月4日～7月28日 面積415㎡。第18次 平成6年9月15日～10月22日 面積255㎡。

場所 赤石小学校北西部分(現在の同校屋内体育館)。1988・1989年に実施した第9・10次調査I区北西端の西に隣接する地区。調査員 桜井芳彦・小岩宏明・須川範一